

2018年2月9日

丸紅株式会社

新潟トランス株式会社

ミャンマー連邦共和国 ヤンゴン・マンダレー幹線鉄道
電気式気動車納入案件の受注について

丸紅株式会社（以下、「丸紅」）と株式会社 IHI のグループ会社である新潟トランス株式会社（以下、「NTS」）はミャンマー国鉄より、ヤンゴン・マンダレー幹線鉄道向け電気式気動車（※1）（以下、同気動車）24両納入案件（以下、「本プロジェクト」）を受注し、2月9日に丸紅、NTS とミャンマー国鉄の間で契約を締結しました。受注金額は約70億円です。丸紅はコンソーシアムのリーダーとして商務全般を担当し、NTS は同気動車の設計、製造、試験、教育訓練などを担当します。

本プロジェクトは、これまでに日本政府の円借款450億円の供与が決定している“ヤンゴン・マンダレー鉄道整備事業フェーズI”（ヤンゴン・マンダレー間の既存路線の老朽化した設備を改修・近代化する事業）のパッケージの1つであり、且つ同事業における日本製品の輸出第一号となる案件です。

本プロジェクトで納入する同気動車は、最大の商業都市ヤンゴンから首都ネピドーを通り、第二の商業都市マンダレーへ向かう、中間地点であるタンゲーまでの約267kmを結ぶ幹線鉄道を走り、計画ではヤンゴンからタンゲーまで現在約7時間要しているところを約3時間20分に大幅短縮することを可能にします。本プロジェクトを通じ、ミャンマーの人々の移動に掛かる負担を軽減することで、交通問題の緩和や社会経済の発展に貢献します。

丸紅は、1942年にミャンマーに支店を開設し、鉄道や発電分野などのインフラ事業を中心に、農業化学品、食料、輸送機など幅広い分野でビジネスを展開しています。近年では、ティラワ経済特別区における工業団地開発や、ヤンゴン市内のタケタ地区に位置する複合火力発電所の改修案件にも取り組んでいます。これらの豊富な経験と実績を活かし、今後ともミャンマーのインフラ整備や経済発展に貢献していきます。

NTS は、ディーゼル車両の国内トップメーカーとして、本プロジェクトで納入する同気動車をはじめとする鉄道車両を中心に、国内外の新交通システム、低床式路面電車および積雪地で活用される各種除雪車の製造等、豊富な経験を有しています。今後もミャンマーを含めたアジア地域での受注活動を推進し、交通インフラ整備を通じて各国の経済発展に貢献していきます。

以上

(※1) 電気式気動車

ディーゼルエンジンで発電した電力を使ってモーターで動力を生み出すシステムの車両。

■新潟トランスシス株式会社

本社 : 東京都千代田区有楽町 1-12-1 (新有楽町ビル)

代表者 : 尾藤 千秋

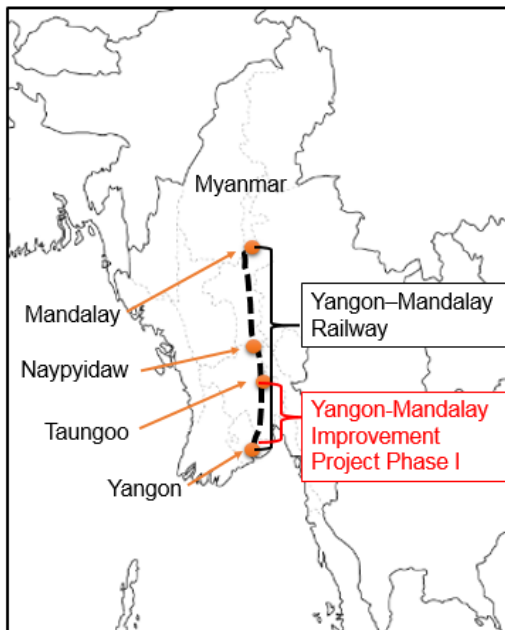
設立 : 2003年2月3日

資本金 : 10億円

事業内容 : 鉄道車両の設計・製造・改造・保守・販売、新交通システムの設計・製造・保守・販売、除雪機械の設計・製造・販売・サービスなど

HP : <http://www.niigata-transsys.com/index.html>

【路線図】



【調印式の様子】

